



1 予算編成にあたっての基本的な考え方



- 第4次大東市総合計画第Ⅱ期基本計画（平成23～32年度）
まちの体質強化と成熟への軌道準備のステージ
- 平成24年度重点施策
 - ・まちの安心・安全のための都市生活基盤の充実整備
 - ・子育て支援・教育環境の充実
 - ・高齢者がいきがいをもち、地域で活動できるように高齢者施策の充実
 - ・市民が主体的にまちづくりに参画できる環境の整備

2 主な実施計画事業の例

(単位：千円)

	事業名	予算額	事業の概要
安全・安心基盤整備	①防犯灯取替助成事業	36,859	老朽化した防犯灯のLED化を推進する。 (H23～25年度に「大東市安全で安心なまちづくり基金」を活用)
	②学校施設の環境改善	448,128	①特別支援教室へ空調機を整備する。 ②住道北小学校、住道南小学校、諸福中学校、北条中学校のトイレの改修工事を行う。
	③学校通学路整備事業	40,677	小学校の統合に伴い通学路の整備を行う。
	④せせらぎ水路等の整備	451,623	①せせらぎ水路の整備工事を行う。 ②公共下水道の整備を推進する。
いきいき・活力増進	⑤地域自治推進事業	6,000	自治会による地域の課題解決のための自主的な取組を支援する。
	⑥だいたうのええもんPR事業	5,500	大東の魅力を市内外に発信し、地域活性化を図る。
	⑦子ども医療助成経費	299,253	子ども医療の支給対象年齢を引き上げる。 (入院：小6まで、通院：小3まで)
	⑧自治会館地域交流センター設置補助事業	80,000	自治会館と併設して地域交流センターを設置する場合、整備補助を行う。
	⑨学力向上推進事業	25,928	①基礎学力定着のため、市独自の教材・到達度テストを作成する。 ②英語教材を充実するとともに、使える英語判定テストの受験を推進する。
	⑩文化財保護整備事業	12,375	①まちづくり交付金を活用し、歴史的資源が豊富な東部地域で、誘導サインの設計等を行う。 ②平野屋新田会所跡整備に関する基本構想を策定する。
	債権整理回収課の新設		市全体の収納業務の強化を図るため、徴収に係る指導、助言等を行う債権整理回収課を新設する。